

評価及び取組報告書

令和7年 1月 9日

湘南桜ヶ丘幼稚園

園長 久保田 智子

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none">水道水を出しっぱなしにしないトイレットペーパーは必要以上に使わない園だよりや学級通信等は、極力紙を使用せずメール配信する紙類を分別し、資源化するマイ箸やマイボトル等を利用する	<ul style="list-style-type: none">暖房は20℃、冷房は28℃を目安に温度設定する電気製品を使わないときはコンセントからプラグをぬく	<ul style="list-style-type: none">仕損じたコピー用紙の裏面を利用したり、小さく切ってメモ用紙にしたりする画用紙の切れ端を再利用する段ボール、新聞、広告紙等の廃材は造形遊びに利用する物品購入時はごみが出にくいものを選ぶ(詰め替品、簡易包装品等)
独自メニュー		
<h3>1 4R (リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ) の啓発</h3> <ul style="list-style-type: none">園児にも分かりやすいイラストを掲示し、必要以上の水やトイレットペーパーの使用を控えるように伝えました。絵本「もったいないばあさん」シリーズの読み聞かせにより、子供たちは、ものを大事にすることの大切さに気づくようになりました。保護者に対してエコ情報だより「さくらがおか ECO キッズ」を年2回発行しました。		
  		
<h3>2 ダンボール、お菓子箱、新聞等の廃材を利用した製作活動</h3> <ul style="list-style-type: none">年長組デイキャンプ(夏期保育)のときに、みんなで遊ぶための「お家」「お祭り」「ジャングル」を段ボール等の廃材を主に使用し製作しました。室内遊びや行事、預かり保育の場でも廃材を利用して遊びました。		

【お家】



【ジャングル】



【お祭り】



【お家】

「お家ってどんな家具や電化製品があるかな？」と議論しながら、リビングでみんながくつろげるように工夫したり、遊び心あふれる子ども部屋をデザインしたりしました。

【ジャングル】

図鑑でジャングルの動物を調べたり、動物園での体験をもとにイメージを膨らませたり、子どもたちはジャングルの世界に大冒険！

【お祭り】

「楽しいお祭りにしよう！」と、子どもたちはかき氷屋さんや金魚すくい・ヨーヨーすくい、的当ての屋台を作りました。

3 動植物の飼育・栽培活動

■ メダカなどの飼育活動

エコ活動の一環として、年長組・年中組がメダカを飼育しています。メダカを通じて、生命の尊さや環境保護の意識を育みます。また、餌や水の管理を通じて責任感も養われました。



■ 子どもたちの興味により、様々な生き物を飼育しました。



(コガネムシ)



(カタツムリ)



(カブトムシ)



(カマドウマ)

■ ミニトマトやサツマイモなどの栽培活動

園児たちは、ミニトマトやサツマイモの栽培を通じて、自然の恵みを育むプロセスを身近に体験しました。プランターで育てたミニトマトは、収穫後にそのまま生で味わい、ナスやダイコンはみそ汁

の具材として使用しました。また、幼稚園の畑で栽培したサツマイモの葉やツルは、地域の畜産農家で牛の飼料として活用されました。これらの活動を通じて、園児たちは自然とのつながりや環境保護の意識を深めることができました。



(ジャガイモ)



(サツマイモ畑)



(お芋掘り)



(ミニトマト)



(キュウリ)



(ナス)



(ダイコン)



(ラディッシュ)

4 その他のエコ活動

■ごみ収集車が幼稚園にやってきました！



■制服のリサイクル販売を行いました。



■保護者の皆様が桜ヶ丘公園の清掃活動をしました。

